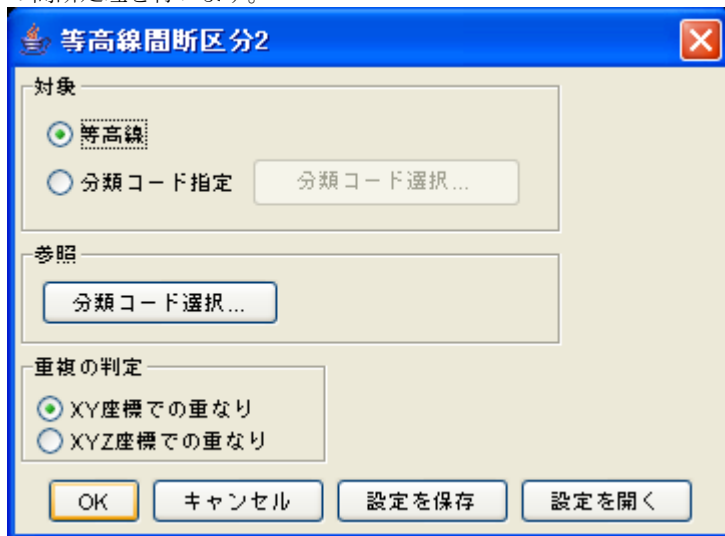


1. 等高線間断区分 2

新メニュー[一括処理]-[等高線間断区分 2]を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

上記メニュー「等高線間断区分」はポリゴンの内側を間断していますが、直被覆の場合など、ポリゴンにならないケースの間断処理を行います。



対象

間断区分を設定する対象を指定します。「等高線」の場合、分類コード 7101 から 7108 の指定になります。等高線以外では振幅道路を指定して、被覆と重なる部分を間断できます。

参照

対象と重なる被覆などの分類コードを指定します。

重複の判定

対象の線分と参照の線分の重なり判定方法を指定します。「XY 座標での重なり」では、線分の XY 座標が重なっていれば Z 値は問わず間断します。「XYZ 座標での重なり」では、XYZ 座標が同じ線分を間断します。

2. 点列チェック

メニュー[チェック]-[点列チェック]に面積がゼロの面(E1)と長さがゼロの線(E2)の検出を追加しました。

点列チェック

チェックと処理

面積がゼロの面(E1)

長さがゼロの線(E2)

すべての点が同一座標(XYZ) 面・線要素を削除する

次の点が同一座標(XYZ) 同一座標点を削除する

次の点が同一座標(XY)

次の点が近接(XY) 表現補助データは対象外

自己交差(XY) 表現補助データは対象外 端点の接触は対象外

-999.0以下とそれ以外のZ値の混在

OKリストCSV

オプション

ファイル別に並び替えてリスト表示

レポートパネル出力

【面積がゼロの面(E1)】面(E1)について、面積がゼロの要素をリストアップします。頂点数が3以下の場合は面積がゼロになりますから、頂点数3以下のケースの検出にも使えます。

【長さがゼロの線(E2)】線(E2)について、長さがゼロの要素をリストアップします。